

3 土砂災害に備えて

日頃の備えと早めの避難



土砂災害がどのようなものか理解できましたか？
おそろしい土砂災害から、私たちのまちや命を守るためにはどうしたらいいのでしょうか？
一緒に考えてみましょう。

どうやってまちを守るの？

土砂災害が起きそうな場所には、砂防施設などを作ってまちを守っています。

国や県は、普段から土砂災害が起きそうな危険な場所などを調べて、砂防えん堤などの砂防施設*を作り、私たちが安心して快適な生活が送れるように、土砂災害から私たちの生活を守っています。

*砂防施設とは、砂防えん堤やかけ崩れ防止施設など、土砂災害からまちを守るための施設のこと。



砂防えん堤 金山谷川(いちき串木野市)

砂防えん堤を作って、家や公民館・道路・線路・小学校等を、土石流災害から守っています。



かけ崩れ防止施設 喜蒲谷地区(南さつま市)

崩れそうな急な斜面をコンクリートなどで押さえて、家・漁港・道路などを、かけ崩れ災害から守っています。

土砂災害が起きた場所は、同じ災害が起きないように砂防施設などを作っています。

砂防施設を作るだけでなく、自然が戻るように木を植えたり、工事で安全になったスペースに公園を作ったりして、よい環境づくりにも取り組んでいます。



土砂災害からまちを守る施設があれば

100%安全なの？

砂防施設があることによって、
まちは以前より安全になりますが、
安心してはいけません。

理由

土砂災害は、私たちの予測を
超える力で襲ってきます。

土砂災害は、私たちの想像もしない
大きさやかたちで発生することもあり、
砂防施設を壊して、
私たちのまちを襲ってくることもあります。



わたしたちの命を守るためには、どうすればいいの？



土砂災害がおこる前に、
みんなで「**早めの避難**」をすること!!
このことが一番大切なんじゃ。

早めの避難をするためには、どうしたらいいの？

「早めの避難」をおこなうためには、
私たち一人一人が“自分の命は自分で守る”という強い気持ちを持
って、「**日頃の備え**」をしっかりとしておくことが
大切なんじゃ!

